

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 7 年 11 月 19 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	福丸建設株式会社
所 在 地	〒857-1164 長崎県佐世保市白岳町 836 番 4
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 増田 貴光
担 当 者 連 絡 先	電 話 : 0956-32-0290
	メール : t_katayama@fukumaru-k.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.fukumaru-k.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は 1973 年の創業以来、長年に渡り貿易や水産事業で発展する長崎を舞台に海洋土木で社会インフラを支えてきました。中でも、海底の土砂を掘る浚渫工事では、軟らかい土層から急に硬い岩盤層となる長崎の地質で培ったノウハウをベースに特許を取得し、現在では県内外から工事依頼が寄せられています。また、近年は外国からの大型旅客船が接岸できるようにする工事や、大規模なリゾート開発に関する工事など、時代のニーズとともに実績を伸ばしているところです。

一方、地球の環境問題に配慮して環境エンジンを導入するなど、ICT をキーワードにデジタル技術を導入することでより安全で精度の高い事業を展開しています。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	将来を担う若者の就職支援と魅力的な職場づくりの促進	・ 高校生向け企業説明会の積極的な実施 ・ 高校生の探求学習支援(県内 3 校以上) ・ 職場見学・体験会の実施(年 5 回以上)
□環境 ✓社会 ✓経済	外国人人材の活用による産業・地域活性化	・ 外国人材の雇用 8 人以上 ・ 外国人材が働きやすい職場環境整備 ・ 外国人材技能向上のための研修会実施
✓環境 □社会 □経済	豊かできれいな海づくり、暮らしやすい環境づくりの推進	・ 長崎県港湾漁港建設業協会が主催する海岸清掃等への積極的な参加(年 2 回以上)

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・性別や国籍などの違いによる業務内容等の差別的待遇を行っていない。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・日頃よりハラスメント防止の呼びかけを行っており、随時社内研修も実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法に準じた労働を行っており、過度な長時間労働がないかを定期的にチェックしている。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・安心して就労できるよう、適切な処遇や労働環境の整備、生活環境面の整備を十分行っている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・工事現場舞に定期的にパトロールを行い、事故防止に努めている。 ・毎年全社員参加の店社安全衛生大会を実施し安全知識を深めている。			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・毎年全社員を対象に労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを実施している。			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・外国人労働者の仕事、生活面をサポートするための責任者を配置し労働環境の整備に努めている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格手当制度を充実させ、社員の資格取得におけるモチベーション向上に努めている。				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・就業規則、人事考課に基づき適正な評価査定を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康経営推進企業の認定を受けている。 ・生活習慣病予防検診を100%実施し、必要な社員に対しては保健指導も実施。 ・毎朝ラジオ体操行い身体を動かすことによってスムーズな始業を図っている。			3					8							
11	【3 R の推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・コピー用紙の裏紙を再利用、資源ごみの分別を徹底し、ごみを減らしている。											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・毎月の電気使用量をチェックし、計画的な使用に努めている。							7.3						13		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・ 自社が排出する廃棄物や有害化学物質について、廃棄物処理業者に委託するなどして適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 環境に配慮した材料を使用し、生物多様性保全に配慮するよう努めている。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 自社の水使用量を把握し、問題点があれば早期に発見してロスを減らすよう取り組んでいる。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 自社ホームページで環境の取り組みに関する情報を開示すると共に、道路路肩の草刈りや清掃、ゴミ回収の実施報告を佐世保市に提出している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ CO2削減のため、社屋屋上と倉庫上にソーラーパネルを設置し、自然環境に優しい事業所を目指している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ ICTを積極的に導入し施工精度を上げることにより、安全性や品質確保の向上に取り組んでいる。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 資格手当制度の充実により、全社員が率先して資格取得、技術力向上できる仕組みを構築している。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ ・エコマーク認定商品を使用するよう心掛けている。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 浚渫作業時の濁りを抑制し、水底土砂に含まれる有害物質の拡散防止のために密閉式クラムシェルバケットを開発した。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 工事前には周辺住民への説明会や関係組合への説明を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 地域行事や防災活動に積極的に参加している。 (海の日清掃、土木の日のイベント参加等)				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・ 長崎県産の原材料を優先的に利用し、地産地消を推進している。								8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念及び経営目標については明文化し社内研修棟で共有している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・就業規則に明記しており、常に全社員へ周知徹底している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・組織図、役割、責任権限を明確化して体制を整えている。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・行政機関や地域住民などの関係者と定期的な情報交換を行いながら、自社活動の影響を把握し、適切に対応している。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・安全管理規定を整備し、リスクの最小化に努めている。 ・全社員参加の安全衛生大会を開催しリスクマネジメントにおける周知徹底を行っている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・様々な災害復旧工事に於いて、卓越した破碎技術で港湾施設の早期復旧に貢献し、災害地域の方々に大変喜ばれている。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・災害に備え、資材や備品を備蓄している。 ・近隣業者と協力して事故や災害時における緊急支援ネットワークを構築している。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・事業承継を重要課題と充分認識しており、顧問税理士等の助言を受けながら検討、課題解決に向けた取組を進めている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。